

ハートピア お出かけガイド



明治改元から150年

維新胎動の地「山口県」をめぐる

幕末維新回廊



山口県では、明治150年を記念し、幕末・明治期の貴重な資料を持つ博物館や美術館など34施設を巡り、「維新胎動の地 山口県」を体感できる全県的なイベント、「幕末維新回廊」を展開しています。

「幕末維新回廊」では、明治150年記念オリジナルデザインICカード「山口めぐりっとカード」を発行し、ポイントラリーを実施しているほか、さまざまな「おもてなし」コンテンツを提供しています。

7月には、山口県立美術館(山口市)で、「明治150年記念特別展 激動の幕末長州藩主 毛利敬親」を開催し、宮内庁から特別にお借りした坂本龍馬が裏書をした「薩長同盟覚書」、「五箇条御誓文」や、長州藩に関わる幕末の一級資料約200点を一挙に公開します。また、9月14日から始まる山口ゆめ花博では、VR(バーチャルリアリティ)技術を使って、幕末の長州にタイムスリップする「維新体験館」を設置するなど、さまざまな企画を展開します。

「山口めぐりっとカード」をゲットし、さあ、「維新胎動の地 山口県」をめぐりましょう!

【開催期間】

平成30年5月12日(土)~12月31日(月)

※対象施設・企画について、詳しくは「維新胎動の地 山口県」のホームページをご覧ください。

<https://meiji150.net/bakumatsu>

幕末維新回廊

検索



【お問い合わせ】

明治150年記念事業 山口県推進協議会 (事務局 山口県明治150年プロジェクト推進室)
電話(083)933-2425



プレミアムカード

「全施設の共通入館券機能」が付いたICカードを「ふるさと納税返礼品」として発行しています。詳しくは、ふるさと納税サイト「さとめぐり」をご覧ください!

<https://satomeguri.jp>

さとめぐり

検索

栗より甘いかぼちゃ
あじす
**「阿知須くりまさる」が
旬を迎えます!**



くりまさるとは

「くりまさる」とは、かぼちゃの品種のひとつで、その名が表すように、栗より糖度が高いことからその名前がつきました。肉厚で、強い甘みと栗のようなホクホクとした食感があり、調理では煮崩れしにくいことが特徴です。家庭料理にはもちろん、和・洋菓子の材料としても広く使用されています。

阿知須くりまさるとは

山口市阿知須地区の瀬戸内に面した排水良好な土壌を生かして栽培される「くりまさる」を「阿知須くりまさる」と名称し、品質の良さで、市場から高く評価されています。

その中でも、外観や品質を厳選したものが「やまぐちブランド」として登録されています。

やまぐちブランドとは?

山口県内で生産される農林水産物や主な原材料が県産100%の加工品を対象に、味や品質を重視した独自の基準を設けて厳選した登録商品です。

かぼちゃ(くりまさるを含む)のやまぐちブランド登録基準

- 出荷前にサンプル検査を行い、糖度13度以上が見込まれるもの
- 高品質化に向けた栽培管理を遵守(じゅんしゅ)していること
- 適期収穫をし、追熟を適正に行っているもの
- 出荷団体の出荷規格等に基づき出荷されたもの



やまぐちブランド



このマークが目印です!

ご購入は…

県内のスーパーなどで購入できます。また、贈答用の販売も行っています。

生産者全員が栽培マニュアルを遵守(じゅんしゅ)して、高品質なかぼちゃを栽培しています。出荷前検査では、大きさ、色、傷の有無を一つ一つ検査しています。

黄金色の輝きが食欲を刺激します!



やまぐちブランドについて

詳しくは「ぶちうま!やまぐち.net」から

<http://buchiuma-y.net/>



お問い合わせは

山口県ぶちうまやまぐち推進課まで

TEL 083-933-3395